

平成 22 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

# 刑 法 問 題 紙

B日程

平成 22 年 2 月 28 日

16 : 00～17 : 30 (90 分)

(120 点)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60 点)

甲は、公園を散歩中、以前因縁を付けられ暴行を加えられたことのあるVに、いきなり殴りかかられた。甲は、一旦これをかわしたものの、腰付近を持たれて付近のフェンスまで押し込まれて、Vにひざや足で数回蹴りつけられたため、身の危険を感じ、Vの顔面を1回殴打したところ、Vは、転倒し後頭部を地面に打ち付け、頭を抱えてうずくまった。しかし、甲は、憤激のあまり、うずくまったままのVに対し、「おれを甘く見るな」などと言って、Vの背中を足で数回踏みつけ、腹部を蹴り上げたところ、Vは仰向けにひっくり返って後頭部を地面に打ち付け、動かなくなった。その結果、Vは死亡したが、死因となった傷害はいずれの時点で生じたものかは不明であった。

甲の罪責を論ぜよ。

## 問題 2 (60 点)

甲は、たまたまAスーパーのレシートを拾ったので、返品を装ってその代金を受け取ろうと考え、Aスーパーの売場から拾ったレシートに記載されたものと同じセーターを持ち出し、それを抱えて店舗内のトイレに入り、そこで値札等を外した上で、トイレから出て換金のためレジの方に持って行こうとしたが、甲の挙動に不審を感じた警備員Vが後を付け、レジに向かおうとする甲に声をかけた。甲は、犯行が発覚したと思い、捕まらないようにとスーパー内の従業員用通路に逃げ込み、ロッカールーム内に身を潜めていた。約1時間後、うまく逃れたと思い、店内に戻ろうとしたところ、甲を探していた警備員Vに発見されたので、甲はVに体当たりをしたが、Vは甲の腕を押さえつけようとしたため、甲は商品を捨てて逃げた。

甲の罪責を論ぜよ。